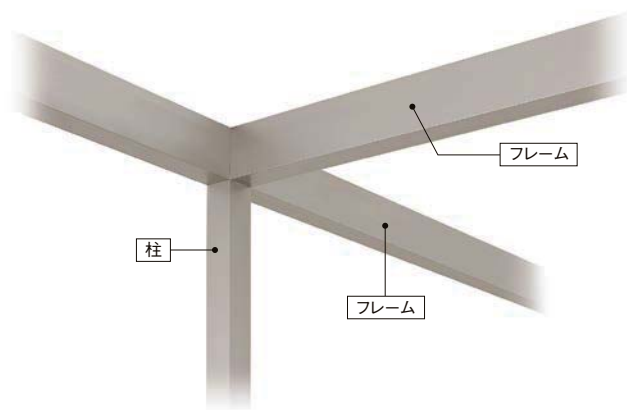


# Gフレーム

敷地を自在にレイアウト、間取りの骨組みをつくる



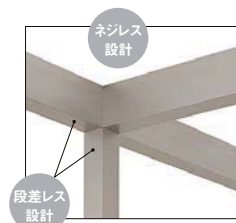
柱とフレームを組み合わせて敷地を立体的にデザインするGフレーム。カラーリング、サイズ、フレキシブル性など、住まいとの調和を考えた設計です。



POINT

## スリムでシンプルなモジュール設計

シンプルでスリムなGフレームは、ネジの見えない設計で、柱とフレームに段差もなく、美しい仕上がりを実現します。



POINT

## 角度調整が自在、変形敷地にも対応

フレームの角度は直角を基本に左右30°までの範囲で自由に調整可能。変形敷地や変化のあるプランにも柔軟に対応します。



フレーム角度調整部材を使用します。

POINT

## 住まいになじむカラーリング

カラーは全9色。モダン、和風、洋風など、さまざまな住宅スタイルにマッチします。



クリエモカ



クリエダーク



チェリーウッド



オーク



シャイングレー



ホホワイト



ブラック



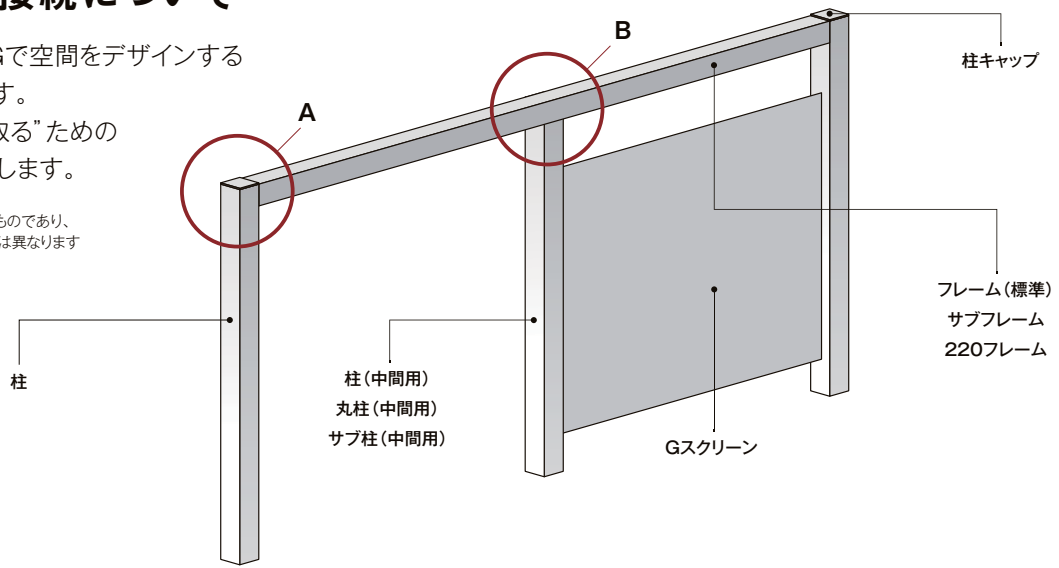
ディープグレー

全長や重量が一定基準を超えるものについては、別途運賃がかかる場合があります。

## Gフレームの接続について

GフレームはプラスGで空間をデザインする基礎となるパーツです。空間を立体的に“間取る”ための骨組みの役割を果たします。

※図は、各部材の使用箇所を示すものであり、高さ・幅などのスケールは実際とは異なります

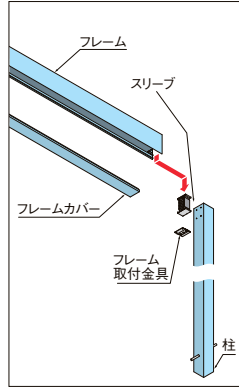


POINT

### A: 柱とフレームの取り付け

柱とフレームを組み合わせれば、空間のアクセントにもなるアーチがデザインできます。

サブフレームと標準柱を接続した使用例

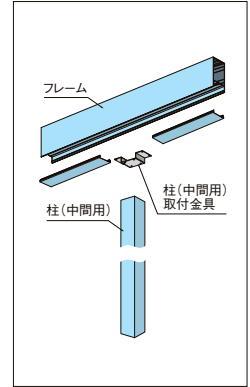


POINT

### B: 柱(中間用)の取り付け

連続施工の際に間仕切りとなる柱です。デザイン的な役割とともに強度を高める効果があります。

サブ柱をフレームに接続して、Gスクリーンを取り付けた使用例



### 柱とフレームの接続

一方向	二方向	三方向	四方向	持ち出し
<p>丸柱は不可</p>	<p>丸柱は不可</p>	<p>丸柱は不可</p>	<p>丸柱は不可</p>	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱を使用</li> <li>・フレーム、サブフレーム、220フレームを使用</li> <li>柱は一方向に下穴加工が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱を使用</li> <li>・フレーム、サブフレーム、220フレームを使用</li> <li>柱は二方向に下穴加工が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱を使用</li> <li>・フレーム、サブフレーム、220フレームを使用</li> <li>柱は三方向に下穴加工が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱を使用</li> <li>・フレーム、サブフレーム、220フレームを使用</li> <li>柱は四方向に下穴加工が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱〔中間用〕、丸柱〔中間用〕、サブ柱〔中間用〕を使用</li> <li>・フレーム、サブフレーム、220フレームを使用</li> <li>・フレーム各種端部キャップを使用</li> <li>持ち出しA=500mm以内とする</li> </ul>